

今号の厳選写真



 理念

病める人の立場に立った、患者さん中心の医療を提供します  
地域の期待に応えられるより良い保健、医療、介護及び福祉サービスの提供に努めます

 方針

1. 医療の質の向上により疾病の早期発見と治療に努めます
2. 個人の権利を尊重し、患者さんに優しい医療・介護の提供に努めます
3. 医療に関する安全管理を徹底し、さらなる向上に努めます
4. 保健・医療・介護・福祉サービスの連携強化に努めます
5. 地域の信頼に応える医療・介護を目指し、地域社会への貢献に努めます
6. 豊かな人間性と技能を備えた人材を育成し、健全な病院経営に努めます



村上記念病院

MURAKAMI MEMORIAL HOSPITAL

# 院内感染症対策のためのお知らせ

令和6年5月1日(水)より

## ※面会制限の緩和について

◆入院支援に関しては以下をお守りください

-----病棟への面会について-----

**【面会時間】 15:00 ~ 17:30**

**時間制限なし、1日2名までです(交代不可)**

各病棟で面会名簿の記帳をお願いします。17:30までの退棟にご協力ください。

下記に該当する方は面会をご遠慮ください。

- ・37.5度以上の発熱がある方
- ・風邪のような症状(だるさ、咳、のどの痛み)がある方
- ・マスクをされていない方(病院からマスクは提供できません)
- ・小学生以下のお子様

※入・退院時や手術などの患者様への付添いは1日2名までとします

-----洗濯物等の荷物の受渡しについて-----

面会時間内に各自病室へお持ちください。

※面会なく総合受付での洗濯物の受渡しを希望される方は、事前連絡の上15:00以降にお越しください。

-----入院請求書の受け渡しについて-----

退院時請求書は当日に病棟でお渡しします。定期請求書はお知らせを翌月12日以降に病室へ配布しています。確認後、会計窓口でお支払いをお願いします。

また、請求書に関して電話連絡や郵送等ご希望がありましたら会計窓口までお申し出ください。

**上記を以て制限を緩和いたしますが、今後も感染状況により面会制限を設ける場合があります。**

**引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。**

令和 6 年 5 月 1 日 村上記念病院 院長 村上 匡人

## 年頭の挨拶



院長 村上 匡人

2025年はここ数年の穏やかな気候とは異なり厳しい冬のまっただ中でのスタートになりました。当地では気温は低いものの快晴の幕開けとなりましたが、記録破りの豪雪となった地方もあり異常気象が続いています。2024年は、ロシアのウクライナへの侵攻やイスラエル・パレスチナの紛争に終結の糸口がなく、その影響が世界中にひろがり、エネルギー源の不足、小麦の不足など生活の元となるものの供給不足だけでなく、異常気象による国内の野菜や米の不足からの価格の高騰も人々の生活を脅かす暗い1年でした。そんな中、パリオリンピック、パラリンピックや各種スポーツでの日本人の活躍だけでなく、アスリートのひたむきさに、感動を覚えたできごと数多くありました。

今年巳年ですが「巳」は十二支の6番目です。忌み嫌う人が多い蛇ですが豊穰や金運を司る神様として祀られ、神聖な生き物として認識されてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。また十干では「乙（きのと）」の年でもあり、植物が成長し広がっていくような意味合いだそうです。

2025年は「乙巳（きのとみ）」の年で、成長と結実の時期となる可能性が高いようです。しかし成長の速度は人それぞれで辛抱強さが試される年にもなり焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要だそうです。

インフルエンザが猛威をふるい、新型コロナも相変わらず存在したままです。

そんな中、医療界は依然として厳しい状況が続き、人口の減少や少子高齢化の加速により働き手が不足し、人材の確保にも困窮する状況はさらに加速しています。私達は、今まで通り一般医療・介護にも力をそそぎ「乙巳」にふさわしい年にすべく、医療情勢の変化や時代のニーズに対応して医療体制を強化し、地域医療を守り医療サービスの向上をめざして職員一丸となって頑張る所存です。

今年もよろしくお祈りいたします。

## 新年互例会

令和7年1月4日、巳年を迎えた仕事始めの日、新年互例会を行ないました。今年の元旦は寒気の影響で風は冷たく感じましたが、良いお天気にめぐまれ初詣に出かけられた方も多かったのでは？

昨年の元旦に能登半島地震をニュースで見た時、大きな被害に大変心痛みました。しかし、この地域でも例外ではなく近々起こるであろう南海トラフ地震を思うと日頃の備えをもう一度見直さなければと、改めて感じました。

また、パリオリンピック、パラリンピックでは日本選手の活躍に喚起し、メジャーリーグでは大谷選手の50/50にさらに盛り上がりました。

巳年の今年も、更生会全職員一丸となって一歩ずつ前進していけるよう、感謝の気持ちをもってサービス提供に努めていきます。本年もよろしくお願いいたします。



## 永年勤続者表彰

院長のあいさつに続き、永年勤続表彰式が行われました。



25年表彰者:河野尚子・中野小百合・原澤三奈子

15年表彰者:國田浩司・曾我部孝子・船田佑理

10年表彰者:伊藤千穂理・越智香織・加藤美枝・工藤涼太・坂本侑奈・清水和裕

高尾圭祐・田窪綾・丹下優・築山望・秦啓子・藤田由佳・本田千文

代表して、中野さんより勤続25年表彰への感謝の気持ちが述べられました。

25年を振り返り様々な経験、出会いが走馬灯のようにめぐりその思いが周りにも伝わり、聴いている私達も感極まりました。これからも仲間とともに更生会を盛り上げて行きましょう。



## 糖尿病の足病変について

村上記念病院 糖尿病教育委員会  
講師：4病棟

### 糖尿病の足病変とは

糖尿病の方に起きる、**足の異常・トラブル**を言います。

**原因**) 主に**神経障害**と**血行障害**によるものです。

神経障害があると、足に傷があっても**知覚が鈍り病変に気づかず進行し**、大きな傷になって気づきます。

血行障害により、血管が細くなり血流が悪くなると、**傷や潰瘍ができて治りにくく**、重症になると**壊疽**になり、**最悪足を切断**することになります。

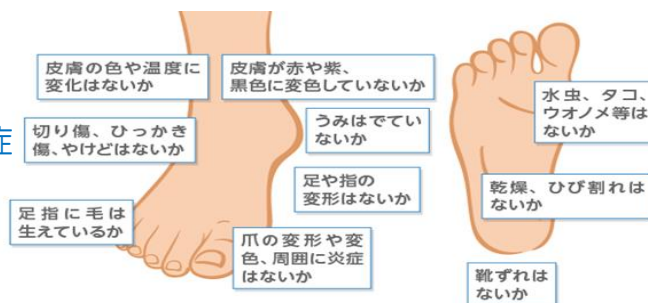
**症状**) 神経障害や、血行障害により様々な症状が出現します。

- 足が冷たい、痺れる
- 足指の感覚が鈍くなる
- 足に傷がある、赤く腫れる、靴擦れが起きやすい
- 足が傷つきやすく、治りにくい
- 水虫や皮膚のただれ、タコや魚の目がある

- 爪や足の変形、変色がある

**足の状態をよく観察しましょう。**

小さな傷でも早期に見つけて、**足病変を発症重症化させない**ようにすることが大事です。



**検査方法**) 症状により検査方法が違います。

**触診、視診**) 傷やタコ・魚の目がなにか、変形や化膿した傷はなにか、壊疽になっないか診察して確認します。

**神経障害**) 触覚検査、振動覚検査、アキレス腱反射、末梢神経伝道検査を行い、足の感覚が鈍くなると、傷や感染を見逃しやすくなるため、感覚マヒの位置や程度を調べます。

**血行障害**) 下肢上腕血圧比、下肢動脈エコー、CT・MRI、血管造影装置で、末梢動脈の動脈硬化の位置や程度を調べます。

**感染症**) 爪の変形、足の腫れ、膿の有無を診察して確認し、爪や皮膚の一部を採り、原因菌を調べ、感染レベルがひどいと血液検査やCTなど画像診断を併用します。

**治療方法**) 糖尿病の様々な合併症を起こさない、悪化させないためにも重要です。

\* **血糖のコントロール**を徹底的に行います。

\* 水虫や細菌が見つかった場合、菌の種類や病変の範囲や程度により、**抗菌薬の塗布や抗生剤の投与**をします。

\* 傷や潰瘍がある場合、**体重をかけないようパットや足底板** (治療用の中敷き) **治療用の靴**を使用します。

\* 潰瘍や壊疽になり細胞が壊死している場合、**死んだ細胞の部分**を除去し、傷が治るのを促します。

\* 末梢動脈疾患の治療は血管の流れを良くする薬で治療し、薬で良くならない場合、血管造影を行いながら、**血管に細い管を入れ血管を広げる (カテーテル療法)** や、**狭くなった血管に金属の網目状の筒を入れ、血液が流れるようにする (ステント療法)** があります。

\* 壊疽が治療を続けても良くならない場合、命を守るために**最悪足を切断**することもあります。

## 足病変は何度も繰り返す病気です。

治療した後も、足の観察を続け、足が痛い、歩きにくい等症状が出た時は、すぐに病院に受診し適切な治療を受けることも大切です。



足病変を予防するために、血糖値のコントロールはもちろん、患者様自身で**足を手入れする（フットケア）**ことも重要になります。

足に傷を作らないよう、日常生活の中で工夫できる、フットケアの方法を紹介します。

- 👣 毎日**足を見て、触って観察**する（入浴時、入浴後に隅々まで観察します）
- 👣 足の**清潔を保つ**（足指の間・足の裏も丁寧に洗い、優しく押さえ拭きで乾かします）
- 👣 **爪は切りすぎない**（深爪しない、巻き爪にならないよう、まっすぐ切ります）
- 👣 **足に合った靴を履く**（窮屈でなく足の形にフィットした靴を選びます）
- 👣 **素足は避け靴下を履き**、傷から足を守る（素足で靴を履くと傷や靴擦れがしやすいです）
- 👣 **やけどに注意**（こたつや湯たんぽ、電気カーペットによる低温やけどに注意しましょう）

ご自分でのフットケアは自信がないと思っている方、安心してください。

当院には**フットケア外来**があります。

**リンパマッサージの資格**を持つスタッフが、**足浴・爪切り・フットマッサージ（膝まで）**を行っています。

是非一度試してみてください。

\*土曜日/（月2回）・第3水曜日・第4木曜日の  
9時～16時までです。

予約制となっています、受付にお声かけください。



ご自分での**毎日のフットケア**や**フットケア外来**を利用することで、早期に足の異常やトラブルを見つけ、病院に受診し検査や治療を受けることは、**足病変の重症化を防ぐ**ことになります

## 合同防災訓練に参加して

令和6年11月23日に朝日町自治会、下町南自治会との合同防災訓練を行いました。コロナの流行があり、自治会と合同での防災訓練は令和元年以来であり、また、病院の増築に伴う自衛消防組織の編成後、初めての全職員を対象とした訓練であったため、災害対策委員会としても不安が少なくありませんでしたが、参加して頂いた自治会の方や職員の方のご協力により、素晴らしい訓練を行うことができたと感じています。

実際、訓練では、平日の診療時間内に震度6強の地震が発生したという想定で、自衛消防組織を活用した、病院内の被災場所への援助部隊の編制や、被災場所での救助・避難などの訓練を行いました。参加して頂いた自治会の方には、緊急援助隊として活動して頂いたり、患者役をやって頂き、参加した職員はスタッフ役として、災害発生時の各自の動き方が確認でき、良いイメージができたのではと感じています。

また、今回は訓練前に、西条市役所危機管理課の深見聡志さんを講師に迎えて、防災講話を行って頂きました。講話では、災害への知識と備えが非常に大切になってくるということなどをお話して頂き、今後に生かせる知識を多く得ることができたと感じています。

今回の訓練と講話で確認できたこと、学んだことは、訓練に参加できなかった方とも共有し、実際に災害が起こった時に、全員が共通意識をもって行動できるように各自準備をしていきたいと思っています。

お忙しいなか訓練に参加して頂いた方、本当にありがとうございました。来年もより良い訓練ができるよう準備していきますので、ご協力よろしく願いいたします。



# 村上記念病院 外来診療担当医表

令和7年1月1日現在

受付時間： 8：00～17：00（月、水、木、金） 8：00～12：00（火、土）

診療時間：【午前】9：00～【午後】14：00～【※ただし、歯科・小児科は13:30～】（火・土午後休診）

診療科により、診察時間が異なりますので、詳細はホームページ又はお電話でお問い合わせください。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	村上匡人	西野圭一郎	村上重人	村上匡人	西野圭一郎	愛大非常勤医（1,3） 森公介（5） 村上重人（2,4）
		日野恵 【内分泌専門外来】		山内達也	森公介 【※喘息外来（小児は除く）あり】	堀江里佳子 【循環器】	
		越智俊元 【血液】	矢野春海	黒川慶昇 【循環器】	末盛浩一郎 【膠原病・リウマチ・感染症・血液】	森公介	古川慎哉【糖尿】 （不定期【要確認】）
	森公介 【※喘息外来（小児は除く）あり】	西野圭一郎		末盛浩一郎 【リウマチ】	立川理絵（1,3,5） 柏原直樹（2,4） 【腎臓】	愛大非常勤医【呼吸器】	
	越智俊元 【血液】		山内達也	村上重人	矢野春海	立川理絵（1,3,5）	
	午後	日野恵		愛大非常勤医 【糖尿】（2）			
透析	日中	越智満久	越智満久	越智満久	越智満久	越智満久	越智満久
	夜間	越智満久		越智満久		越智満久	
外科	午前	上野義智	竹林孝晃	小野敦美	竹林孝晃	小野敦美（1,3,5） 本田和男（2,4）	竹林孝晃
	午後	上野義智		竹林孝晃	竹林孝晃	竹林孝晃（1,3,5） 本田和男（2,4）	
泌尿器科	午前		宮内勇貴（2,4）		渡辺隆太（1,3,5） 福本哲也（2,4）	丹司望	野田輝乙（1,3,5）
	午後						
整形外科	午前	伊藤俊雄		見崎 浩	伊藤俊雄	伊藤俊雄	非常勤医
	午後			見崎 浩 （手術日休診）			
脳神経外科内科	午前	中居永一（脳神経外科） 10:00-15:00	三浦史郎（脳神経内科） 9:00-12:30		藤下幸穂（脳神経内科） 9:00-12:30	川西裕（脳神経外科） 10:00-15:00	愛大非常勤医（脳神経外科） 9:00-12:30
リハビリテーション科	午前午後	徳増善治	徳増善治 （午後休診）	徳増善治	徳増善治	徳増善治	徳増善治 （午後休診）
放射線科	午前午後	村上省吾	村上省吾 （午後休診）	村上省吾	村上省吾	村上省吾 田中宏明	村上省吾 （午後休診）
小児科	午前	寺岡いづみ	寺岡いづみ	寺岡いづみ	寺岡いづみ	寺岡いづみ	愛大非常勤医
	午後	寺岡いづみ 17:00まで		愛大非常勤医	愛大非常勤医	寺岡いづみ 17:00まで	
眼科	午前午後		愛大非常勤医 （午後休診）			愛大非常勤医 16:00まで	
歯科	午前午後	村上徳夫	村上徳夫 （午後休診）	村上徳夫	村上徳夫	村上徳夫 【1,3午後 病棟口腔科】	村上徳夫 （午後休診）
検査	内視鏡	西野圭一郎 矢野春海	村上匡人（1,3,5）	村上匡人 矢野春海	西野圭一郎 矢野春海	村上匡人	村上匡人
	健診センター	午前	森公介	村上重人	森公介	村上重人	日野恵（1） 村上重人（3,5） 森公介（2,4）
	午後	日野恵		日野恵			

発行元：社会医療法人社団更生会 村上記念病院

〒793-0030 愛媛県西条市大町739番地  
TEL：（0897）56-2300（代）

《ホームページアドレス》

<http://www.murakami-kinen.or.jp/>

（2025.1月 発行）

（企画広報委員会）

